

(3) 妊娠分娩が心身障害児発生に及ぼす 影響に関する研究

分担研究者 皆川 進
(国立国府台病院産婦人科)
研究協力者 松本 清一
(自治医科大学産婦人科)
五味 潤 政 人
(日本母性保護医協会)
諸橋 侃
(慶応義塾大学医学部産婦人科)

研究目的

心身障害児発生に関する疫学的研究として私達は、妊娠分娩が心身障害児発生に及ぼす影響を臨床的研究により、即ち妊娠の初期から妊娠経過、分娩状況等を詳細に追求し、出生後も生後1年迄定期的に観察する前向き調査を行ない、全国の産婦人科医、小児科医の協力を得て、我が国における心身障害児の発生原因探求を目的とした。

この研究調査によって心身障害児発生原因の究明、母子保健の具体的指導方法、育児の問題点など、重要な資料を求めるため本研究を行うものである。

この研究方法は、かなりの年月、人手、費用を必要とするところから、このような研究結果の報告は甚だ少ないのが現状であり、本研究の意義があるものと考えている。

研究方法

1. 全国より選出した計252の調査協力施設をリストアップし、各施設より12名を調査対象とする。

2. 産科調査対象は、乱数表より調査日を決め、その日に来院した初診妊婦(初産産いづれでも良い)のうち妊娠初期(2~3ヵ月)の妊婦とする。

3. 調査開始時に産科調査開始届を日母に送付する。

4. 妊婦について、妊娠経過を毎月の定期検診時に調査表に記入する。

5. 分娩時及び新生児を生後1週間迄観察し調査表に記入する。

6. 小児科調査は、健診開始時、日母に小児科健診開始届を送付する。

7. 生後1ヵ月、3ヵ月、6ヵ月、1年の定期健診を行い小児科調査表に記入する。

8. 産科、小児科調査終了時に調査表をそれぞれ一括して日母本部に返送する。

9. 調査表より調査項目の集計、調査成績のコンピューターによる整理、調査成績の検討、調査結果の発表を行う。

本年度の研究結果

1. 先年度完成した産科調査表(7部32頁110項目)、小児科調査表(2部8頁34項目)記入のための別添①の如き調査表記入要領A. 産科用、B. 小児科用を作製した。

2. 全国より計252施設の調査協力施設を選出した。別添②。このためには日本母性保護医協会の各県支部長より推薦された産科、小児科調査が実施可能な施設の選定を諸種の困難を解決して行った。

3. 調査協力のため各県に出張し、担当医

と、本調査の目的、調査表記入方法等について説明了解を求めた。

4. 調査表（産科小児科計24部）その他必要書類別添③を調査協力施設に荷作り発送を行った。

5. 本年度の調査として産科側の調査を昭和50年1月より全国一斉に開始した。

ま と め

本年度は 1. 調査表記入要領の作製, 2. 協力調査施設の決定, 3. 調査表の全国一斉発送, 4. 産科側調査開始に終わったが, 本研究は産科側調査に昭和52年1月迄, 小児科調査は昭和53年10月迄の日時を要し, 調査成績の集計は昭和54年度に入るものと予定される。

又, 本調査を開始に当り全国より調査協力施設の決定（特に小児科側との協力）調査協力依頼, 調査方法の説明, 調査表書類の発送, 調査に要する費用の莫大等に遭遇し, 本調査の困難性に直面し調査続行, 完了に並々ならぬ努力の必要を思わせるものがある。

調査表記入要領

A. 産科用

I. 調査のすすめ方

II. 調査表記入の手引き

黄施設コード番号	
県コード	病院コード
3	5

※この番号は本部にて記入いたします。

I. 調査のすすめ方

1. この調査表は全部で9種類よりできています。産科関係は7種類(1~7)小児科関係は2種類(健康なこどものための調査(1)(2))です。

1. 産科関係

1. 調査表 (1~7)
 - 1) 夫についての調査
 - 2) 妊娠についての調査
 - 3) 妊婦についての調査、(2)既往妊娠分娩について (1例について5部)
 - 4) 妊婦についての調査、(3)今回の妊娠について (1例について5部)
 - 5) 分娩についての調査
 - 6) 新生時についての調査、(1)生後1週間について
 - 7) 新生児についての調査、(2)先天異常について
2. 調査対象選定表
3. 調査開始届
4. 乳児健診依頼券
5. 返送用封筒

2. 産科における調査のすすめ方

- 1) 調査対象の選び方
 - 同封の調査対象選定表(別表)に従って、該当する月日に来院した妊婦のうちより1例を選んで下さい。
 - 初・経産いずれでもよいのですが、出来れば初・経産婦がほぼ同数になるように選んで下さい。尚経産とは日産婦用語問題委員会による妊娠24週以後とします。
 - 妊娠初期 (2、3ヵ月) の妊婦を調査開始の対象に選んで下さい。
- 2) 本部において全国の調査進行状況を把握するために、調査開始にあたっては1例毎にその都度、開始届を口母本部に送って下さい。
- 3) 産科においては母の妊娠初期から分娩まで、児は新生児期(生後7日間)まで観察して下さい。
- 4) 母、児の選定の際に母親に小児科用ファイル (1)乳児健診依頼券、2)健診開始届、3)小児科調査表) を渡して下さい。母親に乳児の1ヵ月健診

調査対象選定表

(昭和51年)

月	日	
1月	12日(月)	21日(水)
2月	13日(金)	24日(火)
3月	5日(金)	26日(金)
4月	6日(火)	23日(金)
5月	15日(土)	19日(水)
6月	18日(金)	24日(木)
7月	8日(木)	9日(金)
8月	2日(月)	17日(火)
9月	10日(金)	16日(木)
10月	2日(土)	22日(金)
11月	4日(木)	12日(金)
12月	3日(金)	17日(金)

備考

- (1) 上記の表の月日に来院した妊娠初期の妊婦の中から月に1例を選び調査対象として下さい。
12
- (2) 施設の調査対象の総数が合計年間10例となるよう調整して下さい。
決められた月日が都合の悪い日(例えば診察日でない日、休診日にあつた日など)にあつた場合は翌日にして下さい。

時に前記3種の入ったファイルを小児科に持参するように指導して下さい。(出来るだけ貴院の小児科をすめて下さい)

3. 調査表の記入について

詳細は別紙の記入要領にありますのでお読み下さい。

I. 産科

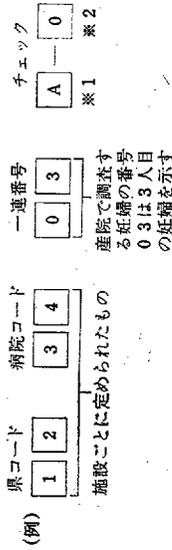
- 1) (1)~(3)は調査開始時に記入して下さい。(1)(2)は原則として医師または助産婦が記入することになっています。(3)は1回の妊娠分娩の度毎に1部ずつ記入いたします。(例：分娩2回、流産1回ならば3部記入)
- 2) (4)は妊娠検診の度毎に一部ずつ記入して下さい。
- 3) (5)は分娩終了時に記入して下さい。
- 4) (6)は児の退院時にまとめて記入して下さい。
- 5) (7)は先天異常が発見されたら記入して下さい。

以上で1例の調査が終了しますので前記のように調査表をまとめて同封の封筒で、日母本部に返送すると同時に母親に健診依頼券、乳児の調査表、健診開始届を渡し健診を受けるようすめて下さい。

II. 調査表記入の手引き

1. 産科関係

- 1) 記入はすべて質問欄と回答欄よりなり、コンピューターを利用して統計解析を行なうようになっていきます。
- 2) 妊婦番号は県コード、病院コード、一連番号からなり、県コード、病院コードはあらかじめ施設ごとに定められたものを記入する。



※1 ……姓名のイニシヤル、番号の間違いを防ぐために記入する。

※2 ……妊婦及び新生児を区別する、妊婦は□で示します。

以上の番号の組合せて調査対象の全妊婦をコード化します。

3) 質問のうち該当するものの番号に○を付けて下さい。回答欄の記入は□の中に記入して下さい。妊娠週数(5.P.1.No.2)は酒で御記入下さい。年齢、身長、体重、時間など数値で表現するものは□の中に記入して下さい。不明のときは、その旨欄外に記入して下さい。

(例) 既往症 質問

(1) 身長 → 1 | 6 | 5

(2) 梅毒 ①なし

2. 治療

3. 現症

4) 夫の勤務先名称、住所および妊婦の父母の住所氏名は将来転居などのため直接連絡がとれない場合にご利用する。

5) 梅毒の(1.P.1.No.6)(2.P.2.No.9)うち先天性と思われるものには△印を付す。

6) 家族歴(1.P.3.No.10)(2.P.6.No.12)は出来れば3等親まで調査の対象とし、該当するものがあれば家族表の該当するところにも○印を付す。

7) 妊婦の職業(2.P.1.No.4)は妊娠当時の職業を調査の対象とする。

8) 既往妊娠、分娩についての調査は既往の妊娠、分娩1回につき1部ずつ記入する。

○多胎妊娠があれば、各児についても記入する(双児ならば2部)

○初妊婦ではこの調査は不要

9) 児の予後および死因のうち「生後死亡」とは(3.P.2.No.11)出生時心拍動を証明しその後死亡したもの、その後何らかの原因で死亡したものをいう。

10) 調査表4は妊婦の外來検診の度毎に1部ずつ前回の検診から今回の検診までの事項を記入する。

○長期入院の場合は1ヵ月ごとに1部ずつ記入する。

11) つわり症状(4.P.1.No.5)：(中等)とは1日1~2回食後に嘔吐する程度のもの、(強)とは食事に無関係に悪心、嘔吐があり体重減少、脱水症状などがみられるもの。

12) 性器出血の程度：(中等)とは月経程度のもの、(多量)とは経血を混するほどのもの。(4.P.1.No.7)

13) 蛋白尿の程度：(4.P.1.No.6)

試験紙を用いた場合は、その表示されている判定基準に従って記入する。

ズルフォサルチル酸試薬を用いた場合、

(+)黒色背景で混濁がくすかに認められるもの(0.2%以下)

(+)黒色背景がなくとも、わずかな混濁が認められるもの。

(+)混濁が明瞭であるが、細片沈澱のないもの。

(+)細片沈澱が認められるもの(2%内外)

14) 浮腫の程度 (4.P.1.No.6)

(+)指頭圧による圧痕が触診で認められるもの。

(+)指頭圧により圧痕がみられるもの。

(+)指頭が没するほどのもの。

15) 血色素量(4.P.1.No.6)：ザーリー法のみときは欄外に%を記入する。

16) 医用超音波診断を行なった場合(4.P.2.No.10)超音波強度が不明のときは必ず表置名を記入しておく(超音波断層法mWはWの誤り)

17) 妊娠中の合併症(4.P.3.No.11) 投薬(4.P.4.No.12)については「あり」「なし」は必ず記入する。「あり」の場合のみ以下該当する欄を記入する。以下同じ。

18) 嗜好の飲酒、喫煙(4.P.5.No.14)は妊娠のため中止又は減量するものがあるので毎回記入することにした。

19) 職業欄(4.P.6.No.16)についても、妊娠途中で変わることがあるので毎回記入とした。

20) 分娩についての調査並びに新生児についての調査は多胎妊娠の時は1児につき1部ずつ記入する。

21) 児の予後(5.P.3.No.10)のうち児死亡の場合、正確に○日○時間○分を求めているのではなく、○日又はおおよそ何時間、約何分でよい。

(「2、3、4、5を選んだ場合」とあるが「3、4、5を選んだ場合」の誤り)

22) 胎盤重量について(5.P.4.No.17)

胎膜、臍帯を含む胎盤重量は必ず測定する。実質重量は測定した場合に記入する。

23) 羊水の量について(5.P.4.No.19)

(多)とは約800ml以上のもの、(少)とは約100ml以下のものとして。

24) 新生児の日の数を教える方は出生当日を0とし以後1、2、3日と数える。

25) 先天異常について(7.P1~P5)

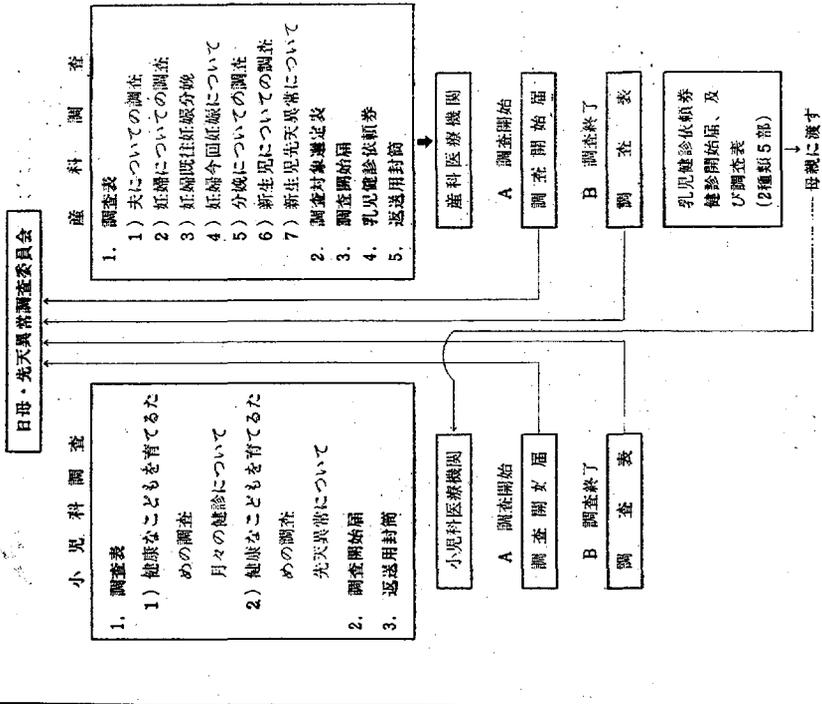
産科では日令7日までに発見されたものを記入する。
(疑わられなければ記入しないで下さい)

不明の点がありましたらば……。

〒162 東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1丁目2番地
保健会館 TEL. 03-369-4739
窓口 日本母性保健医協会
先天異常部(浜、山岸、田島)

にお問合せ下さい。

調査システム



社団法人 日本母性保護医協会 担当役員

森山	豊	社団法人	日本母性保護医協会	会長
五味淵	政人	社団法人	日本母性保護医協会	常務理事
川上	博	社団法人	日本母性保護医協会	常務理事
諸橋	侃	社団法人	日本母性保護医協会	理事
皆川	進	社団法人	日本母性保護医協会	理事
本多	洋	社団法人	日本母性保護医協会	理事
松山	栄吉	社団法人	日本母性保護医協会	理事
真田	幸一	社団法人	日本母性保護医協会	理事
大屋	敦	社団法人	日本母性保護医協会	理事

先天異常調査委員会 委員名簿

松本	清一	自治医科大学産婦人科	教授・前院長
津野	男	都立築地産院	院長
荒木	日出之助	昭和大学医学部産婦人科	教授
岡田	三郎	浜田病院	副院長
菊地	三純	日本医科大学産婦人科	助教授
工藤	孝宏	千葉大学医学部産婦人科	講師
島田	木村	北里大学医学部産婦人科	助教授
高田	長	日本大学医学部産婦人科	教授
野野	口	慶応義塾大学医学部産婦人科	助教授
野野	口	長野産婦人科野口病院	院長
野野	口	産婦人科野口病院	院長
堀	今	野口産婦人科野口病院	院長
川北	作	昭和大学医学部産婦人科	講師
草巷	治郎	都立築地産院産科	医長
白中	富照	国立小児病院	副院長
馬場	和	日赤医療センター小児科	部長
本松	一賢	日本大学医学部小児科	教授
村成	文秀	国立駒込病院小児科	部長・副院長
深見	也	東京女子医科大学第二病院小児科	教授
	浩	東京大学医学部小児科	講師
	雄	東京大学医学部小児科	助教授
	雄	東京大学医学部小児科	教授
	雄	日本大学医学部小児科	講師
	雄	埼玉医科大学小児科	講師
	雄	東京医科大学小児科	教授
	雄	東京警察病院小児科	部長
	雄	都立母子保健院小児科	院長
	雄	国立精神衛生研究所	精神薄弱部長
	雄	東京芝浦電気株式会社	
	雄	電算機官公第二システム営業部	第二システム技術課

調査表記入要領

B. 小児科用

I. 調査のすすめ方

II. 調査表記入の手引き

I. 調査のすすめ方

1. 同封してあるものは次の通りです。
 - 1) 調査表 (健診表) 2種類 5部
健康な子どもを育てるための調査
 - (1) 月々の健診について (1例について4部)
 - (2) 先天異常について (1部)
 - 2) 調査開始届
 - 3) 返信用封筒
2. 調査のすすめ方
- 1) 母親が乳児健診依頼券並びに調査表を持参します。調査開始にあたっては、開始届を日母本部に送って下さい。調査進行状況を把握するためです。
 - 2) 健診は原則として生後1か月、3か月、6か月、1年の4回としますが止むを得ない場合少々の変更があってもよいと存じます。
 - 3) 生後1ヶ年の調査が終了いたしましたら、調査表を1例ごとに日母本部に送って下さい。
3. 調査表の記入にあたって
- 1) (1)規定された月の健診については診療の度毎に1部ずつ記入して下さい。
 - 2) 調査期間中に先天異常が発見されたら(2)に記入して下さい。なお、外表奇形などは産科の調査と重複することがありますが、本部では1例ごとに母親のデータを合せてコンピューターで処理しますので、その際重複は避けられるようになっています。
 - 3) 果コード、病院コードは記入せず欄外に〇果〇〇市・群△△病・医院小児科を記入して下さい。
 - 4) 回答欄の記入は口の中に記入せず、質問欄のうち該当するものに○印をつけて下さい。但し年令、身長、体重等数値で表現するものは口の中に記入して下さい。
 - 5) 発達検査の欄は該当する月令のところに可能(+)不確出(不)を確認し記入して下さい。

II. 調査表記入の手引き

1. 同封してあるものは次の通りです。

1. 調査表(健診表)2種類5部
健康な子供を育てるための調査
(1)月々の健診について(1例について4部)
(2)先天異常について(1部)

2) 健診開始届

3) 乳児健診依頼券

4) 返送用封筒

2. 調査のすゝめ方

- 1) 母親が乳児健診依頼券並びに調査表一式を持参します。調査をはじめましたら健診開始届を母本部へ送って下さい。調査進行状況を把握するためです。
- 2) 健診は原則として生後1カ月、3カ月、6カ月及び満一年の4回としますが止むを得ない場合は多少の変更があっても差し支えありません。
- 3) 満一年間の調査が終了しましたら、調査表をまとめて、1例毎に母本部へお送り下さい。以上を原則としますが整理などの御都合のある場合は毎回の調査表をその都度お送り下さっても結構です。
- 4) 調査が中断したことが明かになった例はその時点で調査表を御返送下さい。

3. 調査表記入要領

- 1) 1カ月、3カ月、6カ月の検診の度に調査表をとり一部ずつ使用します。
- 2) 調査期間中に先天異常が発見されたときは、①先天異常についての調査表に御記入下さい。外委奇形、幽門狭窄、胆道閉鎖などの内臓奇形、心奇形、悪性腫瘍などもありますので御注意下さい。外委奇形は産科側の調査と重複することもあります。電算機処理をしますので小児科側の記載をお願いします。
- 3) 県コード、病院コードは記入せず、欄外に〇〇県〇〇市・群△△病 医院△△科と御記入下さい。
- 4) 回答欄の記入は□の中に記入せず質問欄のうち該当するものに○印をつけて下さい。※但し、(1項)より(6項)までは□の中に数値を右すめて記入して下さい。

下さい。

5) (8項)より(12項)までの回答欄の2. あった は前回の調査以後今回までの期間の出来事をとって下さい。また、2. あった 欄に○を付す場合には簡単なコメントを記入していただきたきなお願致します。

6) (8項)(黄疸)は出生時の正常範囲の生理的黄疸は除きます。判定には特に検査を必要とせず、肉眼的に判定したもので結構です。(貧血)についても同様主観的判定をとって下さい。(湿疹)あせも、おむつかぶれ、間擦疹は除きます。

7) (11項)(下痢)、(便秘)、(嘔吐)は「……し易い」という体質傾向としてとらえて下さい。(肝腫)は生理的範囲をこえると思われるもののみ採用して下さい。

8) (13)(モロー反射)誘発法の種類は定めてありません。日常の方法で判定して下さい。(把握反射)手掌の把握反射を調査して下さい。(陽性支持反射)+、-、○の判定は厳密でなくても結構です。以上の3反射は6カ月以降も一度検査し、一欄に記入することを忘れずして下さい。(パラシユート反射)は6カ月以降の検査の際に試みて下さい。

9) 発達検査は該当満月令の検査を行い、可能(+不確定不可能-)を確認して記入して下さい。合格項目が2項以下の場合は順次月令を下げて調査し、合格項目が3項以上になる月令までさかのぼって下さい。

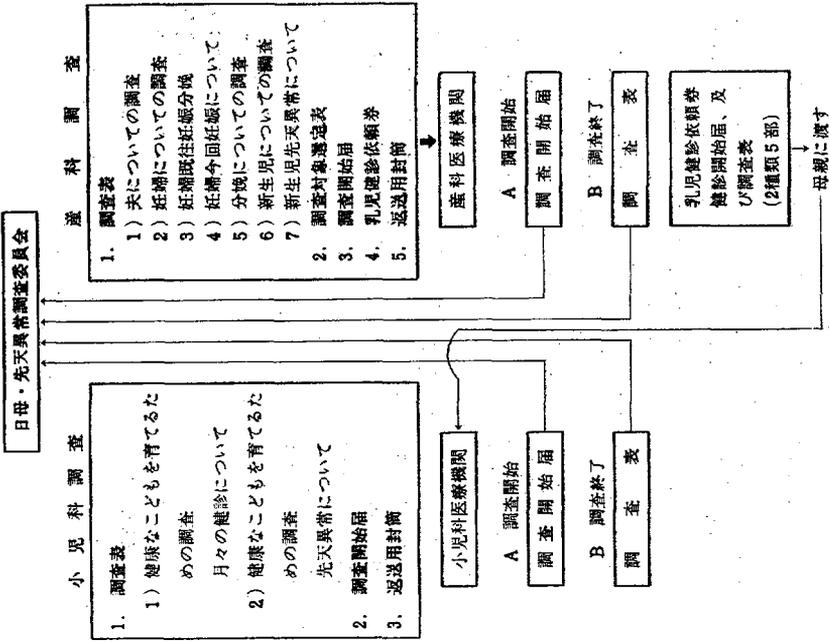
10) (15)(病名)あり の場合の病名()は、本調査の目的から最も大切ですので軽症、体質傾向、予防注射副作用などまで含めてなるべく詳しく御記入下さい。特に精神発達遅滞などに御注意下さい。また上記三疾患につきましても、詳しい分類がおわかりでしたら御記入下さい。

その他不明の点がありましたら……。

〒162 東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1丁目2番地
保健会館 TEL 03-269-4739
課長 日本母性保護協会
先次業務部 (係: 山岸、田島)

にお問合せ下さい。

調査システム



日本母性保護医協会都道府県支部長・担当者氏名

	支部長	担当者
北海道	石井 碩	加藤 正 松
青森	品川 信	秋山 正 正
岩手	横川 貞	山藤 正 友
宮城	永井 島	佐安 友 寿
秋田	丸島 勝	針山 友 峰
山形	松尾 正	山下 子 徹
福島	桜井	山葉 精 照
茨城	河津 量	木嶋 正 照
栃群	馬山 太	五十嵐 正 雄
埼	玉葉 利	丸山 正 義
千	小渡 金	市皆 紀 三
東	京川 行	中杉 隆 茂
神奈	梨野 依	田井 村 茂
山	野安 井	井司 次
長	岡並 内	藤野 和
静	瀧竹 曾	野下 陸
新	富中 岡	大飯 田
富	石越 野	飯野 田
石	川真 原	野野 口
福	井真 山	野丹
岐	阜知 野	
愛	重	
三		

	支部長	担当者
滋京	賀都 青	井上 泊 蔵
大	阪 伴	今小 木 重
兵	庫 藤	岡村 橋
奈	良 東	藤原 敏
和	山 吉	井上 欣
歌	取 水	田中 輝
鳥	根 田	奥本 郁
岡	山 伊	川谷 若
広	島 橋	熊中 繁
山	口 黒	阪後 彦
德	島 赤	猪本 直
香	川 古	本白 文
愛	媛 吉	森川 照
高	知 玉	川田 良
福	岡 鬼	植内 光
佐	賀 内	宮本 健
長	崎 三	橋浦 志
熊	本 八	浦一 義
大	分 堀	浦喜 啓
宮	崎 島	森一 喜
鹿	島 遠	森竹 静
児	繩	
沖		

先天異常疫学調査協力施設一覽表

北海道	7	埼 玉	7	福 井	6	鳥 取	5	佐 賀	2
青森	1	千 葉	4	岐 阜	5	島 山	5	長 崎	6
岩手	3	東 京	14	愛 知	5	岡 本	7	熊 本	6
宮城	4	神 奈 川	12	滋 賀	7	広 島	5	大 宮	4
秋田	6	山 梨	4	京 都	5	山 口	5	官 崎	5
山形	4	長 野	5	大 阪	4	山 德	4	鹿 児 島	5
福島	5	静 岡	5	兵 庫	8	香 愛	2	沖 繩	4
茨城	8	新 潟	7	奈 良	7	高 福	6	合 計	252
栃群	5	富 石	5	和 歌 山	5		4		
馬	5	石 川	5						

別添②

調 査 実 施 施 設

北海道	医療機関名	所在地	産婦人科 責任者	小児科責 任者
	市立札幌病院	060 札幌市中央区北1条西8丁目	後藤 史郎	尖戸 哲男
	斗南病院	060 札幌市中央区北1条西6丁目	島津 誠二	河原崎 侑
	市立釧路総合病院	085 釧路市幣舞町4-21	篠崎 護	藤田 繁
	市立室蘭総合病院	050 室蘭市常盤町2	小国 親久	久保 茂俊
	市立函館病院	040 函館市弥生町2	高桑 明夫	池田 茂
	北海道大学医学部付属病院	060 札幌市北区北14条西5丁目	松田 正二	山田 尚達
	札幌医大付属総合病院	060 札幌市中央区南1条西16丁目	橋本 正淑	中尾 亨
青森県				
	弘前大学医学部	036 弘前市相良町2	品川 信良	泉 幸雄
岩手県				
	岩手医大	020 盛岡市内丸19-1	秦 良磨	若生 宏
	県立中央病院	020 盛岡市本町通1-1-1	武田 正美	広岡 豊
	日赤盛岡病院	020 盛岡市中央通1-2-1	菊地 俊雄	山田わか子
宮城県				
	東北大学医学部産科周産母子部	980 仙台市星陵町1-1	鈴木 雅州	荒川 雅男
	国立仙台病院	983 仙台市宮城野2-8-8	赤間 二郎	矢野南巳男
	東北公済病院	980 仙台市国分町2-3-11	高橋 郁夫	石川 淳一
	斎藤医院	989-24 岩沼市大手町3-15	斎藤 嘉吉	斎藤千代子
秋田県				
	由利組合総合病院	015 本荘市東町38	大友 泰郎	岡村 敏弘
	平鹿総合病院	013 横手市寿町10-18	目黒 保行	千葉二美夫
	大館市立総合病院	017 大館市豊町3-1	桜庭 広次	大村 達雄
	秋田大学医学部付属病院	010 秋田市千秋久保田町6-10	九嶋 勝司	東 音高
	秋田赤十字病院	010 秋田市中通1-4-36	五十嵐信寛	田村 全
	秋田市立総合病院	010 秋田市川元松丘町4-30	米谷 毅	工藤 雄爾
山形県				
	県立中央病院	990 山形市桜町7-17	山下 徹	寺嶋 誠一
	市立病院済生館	990 山形市七日町1-3-26	保科 孝太	勝島 矩子
	市立荘内病院	997 鶴岡市馬場町2-1	住吉 勇一	今立 元
	米沢市立病院	992 米沢市相生町6-36	岩淵 慎助	上田 秀二
福島県				
	竹田総合病院	965 会津若松市山鹿町3-37	星 敬一	森田 早苗
	福島赤十字病院	960 福島市入江町11-31	秋山 精治	相原 栄子
	県立医大付属病院	960 福島市杉妻町4-45	福島 務	大原 徳明
	太田総合病院	963 郡山市中町5-25	久野 裕	渡辺 三郎
	寿泉堂総合病院	963 郡山市駅前1-8-16	吾妻 達郎	湯浅 恭一
茨城県				
	国立水戸病院	310 水戸市東原3-2-1	早乙女二朗	富田 進
	水戸赤十字病院	310 水戸市三ノ丸3-12-48	星合 久司	川口 隆司

水戸協同病院	310	水戸市宮町3-2-7	伊藤 剛男	宮沢 久
水戸済生病院	310	水戸市末広町1-1-6	上野 兎	五十嵐武雄
国立霞ヶ浦病院	300	土浦市下高津町760	長井 伸生	酒井 弘
土浦協同病院	300	土浦市木田余5058	潤田 嘉朗	福田 陸夫
東京医科大霞ヶ浦病院	300-03	稲敷郡阿見町阿見3920	花岡知々夫	野呂 忠夫
日立総合病院	317	日立市城南町2-1-1	武井 徳郎	小泉 幸雄
栃木県				
国立栃木病院	320	宇都宮市中戸際1-10-37	隅田 能文	斎藤 和雄
足利赤十字病院	326	足利市本城3-2100	浅岡 健	柿沼 利明
済生会宇都宮病院	320	宇都宮市中央本町4-17	鈴木 孝	石黒 彬男
独協医科大学病院	321-02	栃木県壬生町北小林880	橋口 精範	本間 道
自治医科大学付属病院	329-04	栃木県河内郡南河内町薬師寺 3311-1	玉田 太郎	鴨下 重彦
群馬県				
群大医学部付属病院	371	前橋市昭和町3-38-15	五十嵐正雄	松村 竜雄
群馬中央総合病院	371	前橋市紅葉町1-7-13	野上 保治	寺尾宏一郎
前橋赤十字病院	371	前橋市朝日町3-21-36	西尾 正敏	竹内 政夫
国立高崎病院	370	高崎市高松町36	神岡 順治	天田 憲夫
桐生厚生総合病院	376	桐生市織姫町6-3	関 秋芳	松本 芳郎
埼玉県				
大宮赤十字病院	338	与野市上落合903	小林 賀雄	本多 忠典
川口市市民病院	332	川口市本町4-5-24	久保木 元	渡辺 敏雄
済生会川口総合病院	332	川口市仁志山町1-1	岡村 泰	吉川 俊夫
埼玉医科大学付属病院	350-04	埼玉県入間郡毛呂町毛呂本郷38	田村 武	中山 喜弘
社会保険埼玉中央病院	336	浦和市北浦和4-9-3	佐々木寿男	八坂 篤
国立西埼玉中央病院	359	所沢市大字北野1671	小島 修	原 朋邦
丸山病院	339	岩槻市本町2-10-5	丸山 正義	松田 清之
千葉県				
国立国府台病院	272	市川市国府台1-7-1	皆川 進	栗田 威彦
千葉大学	280	千葉市亥鼻町313	高見沢裕吉	久保 政次
成田赤十字病院	286	成田市飯田町90-1	永田 一郎	青山 恭二
君津中央病院	292	木更津市桜井1010	長谷川正夫 新井 一夫	神田 勝夫
東京都				
日本大学医学部付属板橋病院	173	板橋区大谷口上町30-1	高木 繁夫	馬場 一雄
日本大学医学部付属駿河台病院	101	千代田区駿河台1-8	高木 繁夫 津端 捷夫	北川 照男
日本医科大学付属第一病院	102	千代田区飯田橋3-5-5	菊地 三郎	植田 穰 橋本 清
慶応義塾大学病院	160	新宿区信濃町35	根本 謙	市橋 保雄
都立築地産院	104	中央区明石町14	堀口 貞夫	藤井 とし
東京大学医学部付属病院	113	文京区本郷7-3-1	坂元 正一	白木 和夫
東京大学医学部付属病院 分院	112	文京区目白台3-28-6	本多 洋	中村 孝
東京厚生年金病院	162	新宿区津久戸町23	松山 栄吉	小林 貞夫
同愛記念財団病院	130	墨田区横網2-1-11	真田 幸一	馬場 実
日赤医療センター	150	渋谷区広尾4-1-22	野末 源一	赤松 洋

都立母子保健院 156 世田谷区桜1-27-33
 東京医科大学病院 160 新宿区西新宿6-7-1
 愛育会病院 106 港区南麻布5-6-8
 昭和大学病院 141 品川区旗の台1-5-8

神奈川県

警友総合病院 231 横浜市中区山下町47
 東海大学医学部産婦人科 259-11 伊勢原市望星台
 聖マリアンナ医科大学 213 川崎市高津区菅生2095
 北里大学病院 228 相模原市麻溝台いの原1
 小田原市立病院 250 小田原市久野46
 横浜赤十字病院 232 横浜市中区根岸町2-85
 国際親善総合病院 231 横浜市中区相生町3-55
 日本医科大学付属第二病院 211 川崎市中原区小杉町1-396
 横須賀共済病院 238 横須賀市米ヶ浜通り1-16
 国立横須賀病院 238 横須賀市上町2-36
 川崎市立川崎病院 210 川崎市川崎区新川通70
 横浜南共済病院 236 横浜市中区金沢区六浦町500

山梨県

国立甲府病院 400 甲府市天神町11-35
 市立甲府病院 300 甲府市幸町14-6
 清水産婦人科病院 400 甲府市中央2-5-16
 高山病院 400 甲府市丸ノ内1-14-8

長野県

長野赤十字病院 380 長野市北石堂町1177
 佐久総合病院 384-03 南佐久郡臼田町197
 信大付属病院 390 松本市旭3-1
 岡谷市立病院 394 岡谷市本町4-11
 諏訪赤十字病院 392 諏訪市小和田19

静岡県

長野産婦人科医院 416 富士市柏木242-1
 甲斐産婦人科医院 410 沼津市新宿町1-2
 甲田産婦人科医院 420 静岡市大綱町5-2
 安井産婦人科医院 413 熱海市昭和町15-16
 岡田産婦人科医院 432 浜松市鴨江4-15-17

新潟県

がんセンター新潟病院 951 新潟市川岸町2
 新潟市民病院 950 新潟市紫竹山452
 済生会新潟病院 951 新潟市田町1
 長岡赤十字病院 940 長岡市日赤町4
 長岡中央病院 940 長岡市福住2-1-5
 県立中央病院 943 上越市大手町65
 県立新発田病院 957 新発田市大手町4-10

富山県

富山県立中央病院 930 富山市西長江220

川村 満元 根本ハツ子
 秋谷 清 本多 輝男
 吉田 啓治
 穂垣 正暢 沢田 啓司
 荒木日出之助 奥山 和男

鈴木 健治 五十嵐鉄馬
 藤井 明和 木村三生夫
 浜田 宏 水原 春郎
 長内 国臣 坂上 正道
 佐藤 啓治 大西 三郎
 三宅 清平 川村 廉男
 斎藤 清 若林 実
 室岡 一 太田 秀穂
 田村 正男 広瀬 誠
 内田 勝次 田口 保平
 林 茂 川名 嵩久
 野上 健 加藤 和夫

小林 安男 日野原正幸
 杉田 茂仁 滝沢 保之
 清水 澄雄 横山 宏
 高山不二雄 小野 英子

植田 国昭 斎藤 克之
 山田 貞一 神辺 譲
 岩井 正二
 木村 好秀 小野 元見
 平出 公仁 藤原 達郎

長野 寿久
 甲斐 一郎
 甲田 誠
 安井 志郎
 岡田 和親

笹川 重男 内海 治郎
 上原 政夫 小島 義一
 後藤 司郎 佐藤 陽子
 野口 正 小沢 寛二
 永松幹一郎 藤島 暢
 山田 隆治 甲斐 国子
 関塚 正昭 宮下 勉

館野 政也 中泉 清

富山市民病院	930 富山市大手町6	千鳥 哲也	水木 明
厚生連高岡病院	933 高岡市永楽町5-10	大沢 汎	広島 清一
富山赤十字病院	930 富山市東田地方町1-5	岡田 正清	江本 清和
高岡市民病院	933 高岡市宝町4-1	五十嵐辰博	新沢 隆
福井県			
福井県立病院	910 福井市四ツ井2-8-1	飯田 和質	山本 勇志
福井赤十字病院	910 福井市月見2-4-1	山田 良	富沢 貞造
市立敦賀病院	914 敦賀市三島町2-36	松田 春悦	水木 明
公立小浜病院	917 小浜市大手町2-2	藤村 弘	柴田 史郎
福井愛育病院	910 福井市新保町53-17	宮越 洋一	石原 義紀
福井県済生会病院	910 福井市中央2-8-6	松井 士郎	安田 勲次
石川県			
国立金沢病院	920 金沢市石引3-1-1	岡部 三郎	
金沢大学付属病院	920 金沢市宝町13-1	西田 悦郎	
浅の川総合病院	920 金沢市春日町1-10	村田 孝一	
金沢医科大学病院	920-02 河北郡内灘町字大宮町1-1	桑原 惣隆	吉田 清三
金沢赤十字病院	920 金沢市三馬2-251	松本 裕史	
岐阜県			
岐阜大学医学部付属病院	500 岐阜市司町70	野田 克己	加藤 寿一
県立岐阜病院	500 岐阜市長森野一色	石原 恒二	黒田 勲
大垣市民病院	503 大垣市南頰町4	梅村 鋳三	中村 俊郎
県立多治見病院	507 多治見市前畑町	飯田 誠造	大井 淳一
高山赤十字病院	506 高山市天満町3-11	神谷 啓造	松浦 章雄
愛知県			
名城病院	460 名古屋市中区三ノ丸1-3-1	竹内 忠倫	河村 正彦
名古屋第一赤十字病院	453 名古屋市中村区道下町3-35	須之内省三	小崎 武
名古屋大学付属病院	466 名古屋市昭和区鶴舞町65	石塚 直隆	鈴木 栄
名市大付属病院	467 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1	八神 喜昭	小川 次郎
国立名古屋病院	460 名古屋市中区三ノ丸4-1-1	今泉 静夫	森 正樹
三重県			
桑名市民病院	511 桑名市北別所435	中山 尚夫	石井 雅彦
県立塩浜病院	510 四日市市塩浜町1	葛西 晃郎	坂野 伸彦
四日市市民病院	510 四日市市堀木1	邨 恒雄	岡田 暹
三重大学付属病院	514 津市江戸橋2	杉山 陽一	伊沢 道
山田赤十字病院	516 渡会郡御園村高向	丹羽 隼人	小島 当三
松阪市民病院	515 松阪市殿町1550	地主 彰夫	川田 節男
伊勢市民病院	516 伊勢市河崎町1	藤井 真吾	日比 正明
大阪府			
大阪大学医学部	553 福島区堂島浜通3-1-2	倉知 敬一	
関西医科大学	570 守口市文園町1	榎木 勇	
大阪医科大学	569 高槻市大学町2-7	杉本 修	
国立大阪病院	540 東区法円坂町2	小倉 知治	
大阪厚生年金病院	553 福島区上福島南3-72-3	柳田 隆穂	
大阪労災病院	591 堺市長曾根町1179	河田 優	
大阪北野病院	530 北区西扇町3	下村 虎男	

聖バルナバ病院(産婦人科のみ)	543 天王寺区細谷町66	山村 博三	
京都府			
京都市立病院	604 中京区壬生東高田町1-2	小野 和男	寺田 正
愛生会山科病院	607 東山区山科竹鼻四丁野町9-4	今木 重雄	桑形 医長
日本パプテスト病院	606 左京区北白川山元町47	卜部 宏	鳥居 昭三
京都第二赤十字病院	602 上京区釜座丸太町上ル	村上 旭	水田 隆三
滋賀県			
大津日赤病院	520 大津市長等1-1-35	平岡 治	竹下 茂夫
大津市民病院	520 大津市本宮2	井上 省蔵	米原 孝彦
彦根市立病院	522 彦根市本町2-1-45	石川 愿	中野 直
市立長浜病院	526 長浜市八幡東町631	池谷 東彦	木口 省好
甲賀病院	528 甲賀郡水口町鹿深3-39	小笠原 昶	田中 徹
兵庫県			
神戸大学	650 神戸市生田区楠町7-13	東条 伸平	松尾 保
神戸中央市民病院	650 神戸市生田区加納町1	浅野 定	小林 裕
神戸市立西市民病院	653 神戸市長田区一番町2-1-4	岡村 穰	高川 秀郎
県立尼崎病院	660 尼崎市北城内88	杉原 健三	横山 達郎
姫路日赤病院	670 姫路市竜野町5-30	太田 雅和	松永 剛典
国立姫路病院	670 姫路市本町68	高木 道夫	赤松 徹
県立豊岡病院	668 豊岡市立野町	兼吉 章	桂 伸郎
奈良県			
奈良医大	634 橿原市四条町840	山口 竜二	福井 弘
大和高田市立病院	636 大和高田市磯行1	木田 明宏	江見 勇
奈良国立病院	630 奈良市東紀寺町1-50-1	井上 正二	島川 富昌
天理よろづ相談所病院	632 天理市三島町200	藤原 敏郎	赤石 強司
社保大和郡山総合病院	639-11 大和郡山市朝日町1-62	松田 直信	黒田 敏彦
和歌山県			
県立医大付病院	640 和歌山市七番丁	一戸喜兵衛	児玉 貞介
和歌山市赤十字病院	640 和歌山市小松原通4	井上 欣也	神前 昌三
海南市民病院	642 海南市日方1272	池田 武司	岡田 雅晶
社会保険紀南総合病院	646 田辺市湊510	利重 五郎	津田 紀彦
新宮市立市民病院	647 新宮市新宮6922	森下 義夫	坂下 竜生
鳥取県			
鳥取赤十字病院	680 鳥取市尚徳町	鳥飼 明	滝田賀久也
鳥取県立中央病院	680 鳥取市江津730	戸崎 正雄	飯塚 幹夫
鳥取県立厚生病院	682 倉吉市下田中	明島 淳亮	岡本 博文
鳥大医学部	683 米子市西町	前田 一雄	堀田 正文
国立米子病院	683 米子市車尾	相原 裕	世山 邦彦
島根県			
松江日赤病院	690 松江市母衣町200	井奥 郁雄	岩宮 公平
松江市立病院	690 松江市灘町101	東原 久宣	笠置 綱晴
益田日赤病院	698 益田市乙吉町	遠藤 静男	柳楽 正二
島根県立中央病院	693 出雲市今市町	佐野 正治	永海 洋
国立浜田病院	697 浜田市黒川町	岩本 薫	神田 滋

岡山県

岡山大学医学部付属病院	700	岡山市鹿田町2-5-1	関場 香	木本 浩
岡山市立市民病院	700	岡山市天瀬6-10	高知 床忠	神崎 叶
川崎医科大学付属病院	701-01	倉敷市松島577	小川 重男	浜本 英二
倉敷中央病院	710	倉敷市美和1-1-1	浮田 晶彦	田中 陸男
川崎医科大学付属川崎病院	700	岡山市中山下2-1-80	田中 良憲	梶谷 喬
国立岡山病院	700	岡山市南方2-13-1	藤森 博	山内 逸郎
岡山済生会病院	700	岡山市伊福町1-17-18	小池健太郎	大野 総

広島県

広島大学	734	広島市霞町1-2-3	藤原 篤	臼井 朋包
広島市民病院	730	広島市基町7-33	土光 文夫	村上基千代
広島記念病院	733	広島市本川町1-4-3	絹谷 一雄	橋本 尚三
国立呉病院	737	呉市青山町1-10	佐藤 秀生	荒光 義美
国立福山病院	720	福山市仲野上町466	岡田 悦子	大原 俊夫

山口県

山口県立中央病院	747	防府市八王子2-8-8	西村 博道	三浦 敏男
山口大学付属病院	755	宇部市小串	鳥越 正	小西 俊造
国立岩国病院	740	岩国市黒磯町1-1-1	森 透	山岡 秀樹
国立下関病院	751	下関市後田町1-1-1	緒形 健	楳田 実
山口赤十字病院	753	山口市八幡馬場53-1	志賀 淳一	門屋昭一郎

徳島県

徳島県立中央病院	770	徳島市蔵本町2	井川 昭	田中 弘
徳島市民病院	770	徳島市北常三島町2	阪口 彰	阿達 恒一
健保鳴門病院	772	鳴門市撫養町黒崎	斎藤 真平	有田 ミエ
県立三好病院	778	三好郡池田町シマ	福田 綱弘	船井 康弘

香川県

高松赤十字病院	760	高松市番町4-1-3	垂水 俊幸	岡本 喬
国立善通寺病院	765	善通寺市善通寺町680	吉本 忠弘	浜田 嘉徳

愛媛県

国立松山病院	790	松山市堀之内	北島 武志	河野 登
愛媛県立中央病院	790	松山市春日町83	石井 修平	高山 有道
松山赤十字病院	790	松山市文京町1	武田 秀	木村 俊介
住友別子病院	792	新居浜市王子町	野中 正寛	松井 光
十全総合病院	792	新居浜市北新町	小林 純郎	戸田 寛
市立宇和島病院	798	宇和島市御殿町	一刈 勇雄	八木隆太郎

高知県

高知市立市民病院	780	高知市丸ノ内1-7-45	岡山 哲也	碓井 敏夫
高知県立中央病院	780	高知市桜井町2-7-33	本森 良治	福井 昭
高知赤十字病院	780	高知市新本町2-13-51	森久 哲雄	石川 紘士
高知県農協総合病院	783	南国市大堀甲1571	曾根 弘	坂本不二夫

福岡県

九州大学医学部付属病院	812	福岡市東区馬出3-1-1	滝 一郎	合屋 長英
福岡大学病院	814	福岡市西区大字七隈字烏帽子形	白川 光一	船津維一郎
久留米大学医学部付属病院	830	久留米市旭町67	光藤 博道	山下 文雄

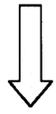
飯塚病院	820 飯塚市芳雄町3-83	松岡 良任	宮原 俊彦
佐賀県			
佐賀県立病院好生館	840 佐賀市水ヶ江1-12-9	渡部 定	原 整
国立佐賀病院	840-01 佐賀市日ノ出1-10-1	大隈 良貴	渡辺 雅子
長崎県			
長崎大学	852 長崎市坂本町7-1	山辺 徹	浅野 清治
長崎市民病院	850 長崎市新地町6-39	田川 博之	
長崎原爆病院	850 長崎市片淵町1-35	藤田 長利	
佐世保総合病院	857 佐世保市島地町10	松尾縁一郎	
佐世保共済病院	857 佐世保市島地町10	山下 裕国	
大村国立病院	856 大村市久原郷1001	久保田健二	
熊本県			
国立熊本病院	860 熊本市二ノ丸1-5	松山 茂磨	富田 泰弘
熊本市市民病院	862 熊本市湖東1-60	河津 竜介	主藤 裕祥
熊本通信病院	862 熊本市新屋敷1-17-27	今村 弘	大原 浩
熊本赤十字病院	862 熊本市長嶺町竜蛇平2255-9	清田 祐史	石橋健治朗
橋本病院	860 熊本市中央街7-5	橋本 義夫	上野 留夫
水俣市立病院	867 水俣市天神町1-2-1	木佐貫健一	上野 剛彦
大分県			
大分県立病院	870 大分市高砂町2-37	肥田 木孜	阿南 茂啓
日赤大分病院	870 大分市千代町3	奥野 千里	小牧 俊夫
国立別府病院	874-01 別府市大字内竈1473	森田 隆	高林 一明
国立中津病院	871 中津市下池永	熊楚御堂 滋	坪井 千鶴
宮崎県			
県立宮崎病院	880 宮崎市北高松町5-30	秦 喜八郎	梶原 昌三
国立都城病院	885 都城市祝吉町5033-1	前田正一郎	塚田 嘉也
県立延岡病院	882 延岡市新小路2-1	延塚 浩	中村 泰郎
県立日南病院	887 日南市木山町27-1	照屋 好雄	新宮 世三
小林市立市民病院	886 小林市大字細野2235-3	許宮 定生	佐藤 雄一
鹿児島県			
鹿児島大学医学部付属病院	890 鹿児島市宇宿町1208-1	森 一郎	寺脇 保
鹿児島市立病院	892 鹿児島市加治屋町20-17	外西 寿彦	森 重孝
国立鹿児島病院	890 鹿児島市下伊敷町666	池田富士雄	川野 通昭
鹿児島県立鹿屋病院	893 鹿屋市打馬1-5-10	王 昭懋	千阪 治夫
鹿児島県立大島病院	894 名瀬市真名津町18-1	前田 宣久	陳 登隆
沖縄県			
琉球大学付属病院	902 那覇市与儀585	竹中 静広	平山 清武
沖縄赤十字病院	900 那覇市久茂地1-3-8	高良 光雄	山里 将典
県立中部病院	904 具市川市字宮里192	屋比久 武	知念 正雄
県立名護病院	名護市名護1617-1	高良 栄吉	多和田真光 伊元 幸信

別添③

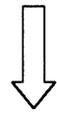
送 付 内 容

産 科 用

A) 産科調査表 (赤ファイル) No.1 ~ No.12 (計12部)		
1) 夫についての調査		
2) 妊婦についての調査		
3) 妊婦についての調査, (2)既往妊娠分娩について (1例について5部)		
4) 妊婦についての調査, (3)今回の妊娠について (1例……12部)		
5) 分娩についての調査		
6) 新生児についての調査, (1)生後1週間について		
7) 新生児についての調査, (2)先天異常について		
B) 調査記入要領		1部
C) 検診開始届	(ハガキ)	12枚
D) 乳児検診依頼券	(")	12枚
E) 返信用封筒		12枚
F) 返信用切手	@300×12 (ファイル用)	¥ 3,600
"	@ 20×12 (ハガキ用)	¥ 240
G) 会長挨拶状		1部
H) 着荷通知書 (ハガキ)		1枚
I) 小児科廻付依頼書		1部



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究目的

心身障害児発生に関する疫学的研究として私達は、妊娠分娩が心身障害児発生に及ぼす影響を臨床的研究により、即ち妊娠の初期から妊娠経過、分娩状況等を詳細に追求し、出生後も生後1年迄定期的に観察する前向き調査を行ない、全国の産婦人科医、小児科医の協力を得て、我が国における心身障害児の発生原因探求を目的とした。